

教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などと関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化にしたしむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

評価の観点

学期	月	内容の まとめ	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7 月	歌唱の構成を工夫し取っよう、	歌唱： 翼をください・夏の思い出・サンタルチア	・旋律・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	・歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。	・歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組むことができる。
		楽曲表現を工夫し取っよう、器	器楽： アルトリコーダー	・曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	・音色・旋律・テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	・曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
		味わい曲想と音楽の構造との魅力を理解して、その魅力を味わ	鑑賞： 交響曲第5番	・曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解している。	・音色・リズム・旋律・強弱・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		仲間と豊かに合奏しよ	創作： 旋律をつくらう	・音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解している。 ・創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	・リズム・旋律・構成を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、まとまりある創作表現を創意工夫している。	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

- ・ 1週間に1回の授業なので一回一回を大切に、また授業内で内容を理解することを柱に置き授業を展開します。
- ・ 毎時間、授業始めに欠かさず忘れ物✓から始め、曲ごとにワークを記入させ習熟度を測ります。
- ・ 歌唱や器楽に関しては、テスト(一人・ペア・グループ)を行い、その都度評価を伝えていきます。